

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ASKA club pure			
○保護者評価実施期間	2026年 3月 1日		～	2026年 3月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日		～	2026年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 24日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	楽しく身体を動かす活動の中に療育的な要素を取り入れ、子ども一人ひとりが「できた」という達成感を積み重ねられるよう支援しています。これにより自己肯定感を育み、自分の力に自信を持って主体的に取り組めるようになることを目指しています。	子ども一人ひとりの特性や発達段階に応じたプログラムを作成し、無理なく取り組めるよう工夫しています。スポーツに携わってきたスタッフが多い強みを活かし、基礎的な運動能力の向上に加え、楽しみながら継続して取り組めるよう関わり方や声掛けを意識しています。	運動活動を取り入れながら、集団生活に必要なルール理解や協調性の育成に取り組んでいます。仲間と関わる中で、思いやりやコミュニケーション力を養い、社会性の向上につなげています。
2	ご家族との対話や相談の機会を日常的に設け、継続的なコミュニケーションを重視しています。また、子どもにとっても安心して気持ちや考えを伝えられるよう、何でも相談しやすい環境づくりに努め、信頼関係を基盤とした支援を行っています。	送迎時などの機会を活用し、ご家庭での様子を丁寧に伺うとともに、施設でのお子様の様子をお伝えする時間を大切にしています。また、活動前後の時間には子どもたちと積極的に関わり、学校での出来事など日常的な会話を通して信頼関係の構築に努めています。こうした継続的なコミュニケーションを通じて、一人ひとりに寄り添った支援につなげています。	保護者の皆様からのご意見や子どもたちの意見を尊重し、日々の支援や活動内容に反映させています。さらに、継続的な振り返りと改善を行うことで、より充実した支援の提供に努めています。
3	お子様の施設やご家庭での様子、保護者様からの情報を職員全員で共有し、共通理解を持ちながら、一人ひとりに寄り添った支援を行っております。	毎日朝礼を実施し、前日の活動内容やお子様の様子について報告・共有を徹底することで、スタッフ間で円滑な情報共有が行える体制を整えております。また、活動内容についてもスタッフ間で話し合い、その目的や意図を確認しながら、より良い支援の提供に努めております。	日常的に職員同士が声を掛け合い、小さなことでも報告・共有を行うことで、円滑なコミュニケーションを図り、チームワークを大切にした支援体制を整えております。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方々に、当施設（児童発達支援・放課後等デイサービス）への理解を深めていただくとともに、広く知っていただく必要があると考えております。	土曜日や夏休み・春休みを除く期間は室内活動が中心となっているため、地域の方々と直接関わる機会が少ないことが課題となっています。	地域行事への積極的な参加に加え、近隣施設や公園の利用時には挨拶や交通ルールの実践を日常活動に取り入れることで、地域とのつながりを大切にし、地域に親しまれる施設づくりに努めてまいります。
2	災害時の安全対策に関する保護者の皆様への周知・共有が不十分であることが課題となっています。	マニュアルや掲示物の設置場所が限定されているため、保護者の皆様の目に触れる機会が少ないことが課題となっています。	災害時対応マニュアルを図やイラストを用いて視覚的に分かりやすい内容へと見直すとともに、定期的な確認機会を設けることで、保護者の皆様への周知および再確認の徹底を図ってまいります。
3			